

テレワークのあんしんと利便性を
最新の認証技術で支える

Hewlett Packard
Enterprise

認証プラットフォームIceWallで実現する
これからのデジタルワークプレイス・BYOD

「働き方改革」の推進により、働く場所や環境、時間の多様化や、自宅やリモートオフィスなど社外から、スマートフォンやタブレット、ノートPC端末で業務システムを利用する、「モバイルアクセス」が急速に進んでいます。

IceWallは、システムへのリモート接続を安全に行なうための多要素認証や、クラウドサービスをより安全にかつシームレスに活用するためのフェデレーション(認証連携)等、最新の認証技術により、急務となるテレワーク推進を強力に支援します。

認証プラットフォーム IceWallによるソリューション



多要素認証

- ・生体認証など、多様な方式を組み合わせ強化できる(プラグイン方式)。
- ・FIDO2準拠の生体認証によるパスワードレス認証にも対応。
- ・Webアプリケーションやクラウドサービスの改修は不要。



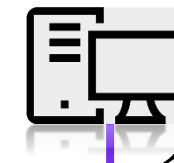
クラウド認証連携

- ・パブリッククラウド/プライベートクラウドとの認証連携を実現。
- ・SAMLやOpenID Connectに対応。
- ・オンプレミス・クラウド環境を意識することない、シームレスな認証環境を実現。



デバイス認証

- ・FIDO2に準拠した生体認証等の活用で、特定のデバイスからのアクセスのみに限定。



VDIの認証強化

- ・多要素認証機能との連携により、VMware製品標準のパスワード認証よりも使いやすく、安全な認証方式を簡単にアドオン。

*VMwareおよびCitrixに対応



導入効果

✓ なりすましリスク軽減

労働環境の変化に伴うなりすましリスクを、利便性を損なわずに軽減し、場所を問わずアクセスできるITシステム環境を実現します。

✓ 広範囲・柔軟な保護

Webアプリケーションやクラウドサービスの改修は不要。改変が難しいSaaSを含む、幅広いWebアプリケーションの認証を強靱化します。

✓ パスワード管理負荷軽減

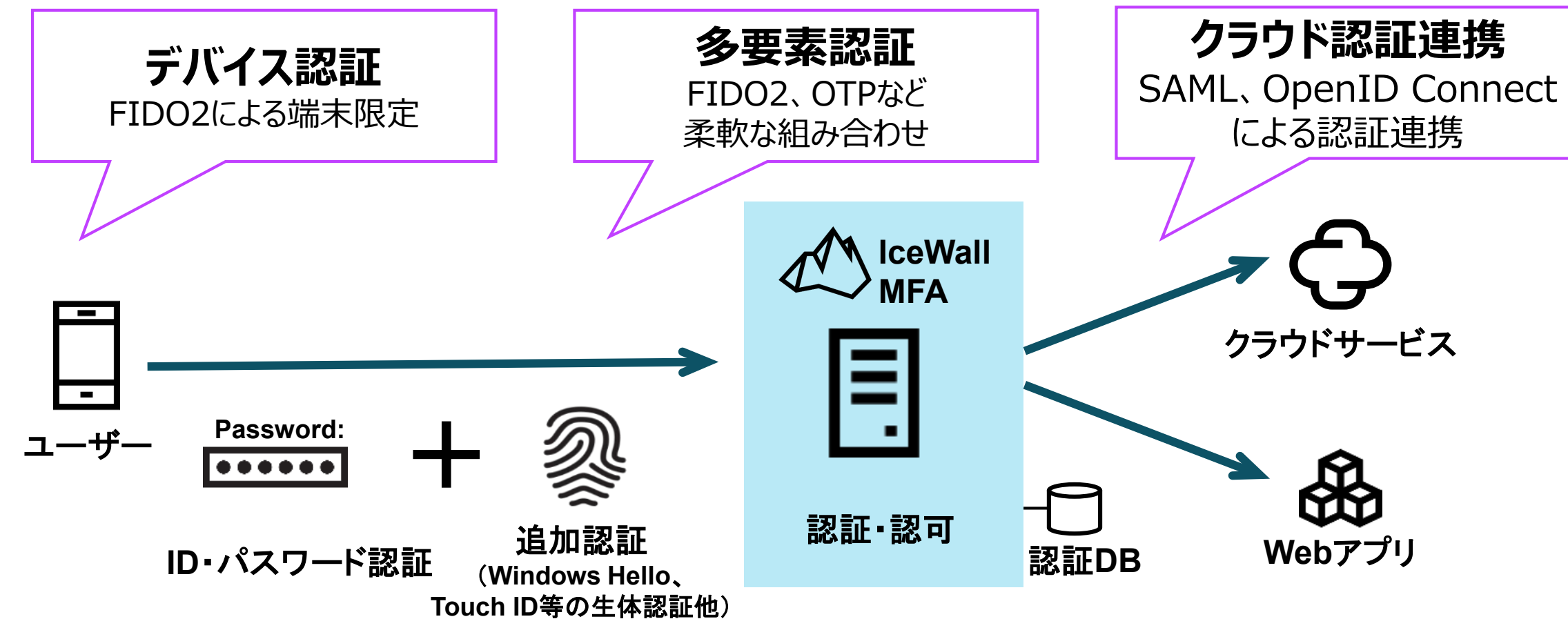
パスワード管理からユーザーを解放し、パスワードの使い回しなど情報漏えいのリスクを軽減します。
パスワード忘れによる問い合わせを減らし、管理コストと負荷を抑えます。



時代背景とITニーズの変化に合わせて機能を拡充

国内シェアNO.1* 認証プラットフォームIceWall

多様な認証方式、柔軟なポリシーに対応、オンプレミスからクラウドサービスまで幅広くカバー



IceWall を導入すると

複数の方式で認証強化できる
FIDO準拠の認証デバイスや、OATH準拠のOTP、その他、認証プラグインを追加することで各種認証方式に対応できる

認証・認可を代行できる
各システムの用途に応じて認証ポリシーを調整できる

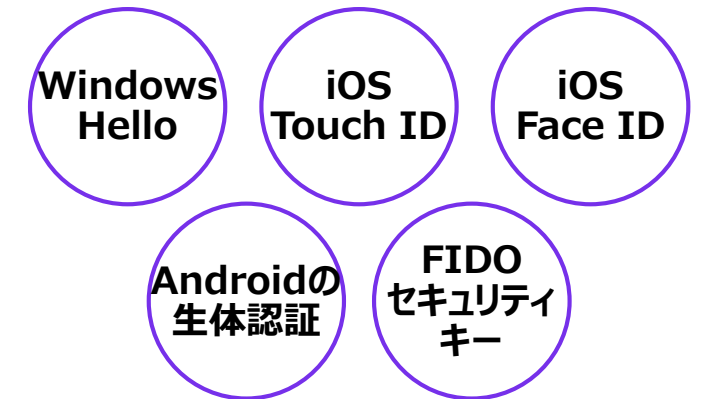
アプリ改修が不要
広範囲のWebアプリやクラウドサービスを、容易に多要素認証化・SSO化できる

- ✓ VDI利用時の認証強化も可能
- ✓ VPNなしで業務システムへの安全なアクセスが可能

お問い合わせ 弊社担当者へお問い合わせいただくか、以下よりお電話・Webフォームをご利用ください。
www.hpe.com/jp/iw-contact

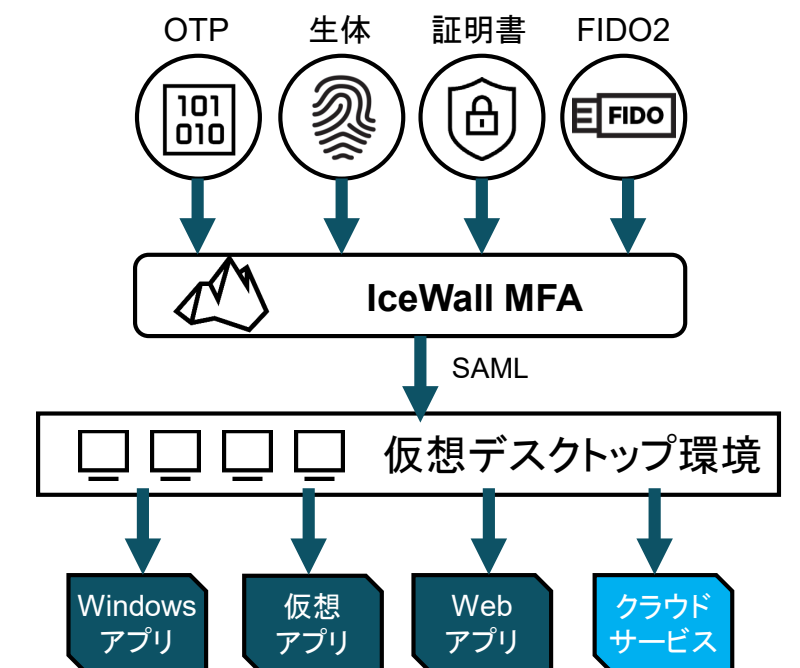
FIDO2 パスワードレス認証

次世代認証の標準規格である「FIDO2」および「W3C Web Authentication」に対応し、各種デバイス標準の生体認証やキーと連携。ユーザーの利用端末を限定して、なりすましリスクを低減しながら、パスワード管理からユーザーを解放します。



VDIの認証強化

多要素認証との連携により、VDI製品標準のパスワード認証よりも使いやすく、安全な認証方式を簡単にアドオン。



*VMwareおよびCitrixに対応